日本学術会議法学委員会・法学系大学院分科会合同シンポジウム

「法学研究者養成の危機と打開の方策ー
法学研究・法学教育の再構築を目指してー」

法科大学院設立後、法学系研究大学院への進学者の減少、研究大学院における研究指導体制の弱体化など、法学研究者養成に困難な状況が生じています。

このシンポジウムでは、こうした事態の打開方策について問題提起を素材に検討を深めることを狙いとしています。

◆日 時　平成２３年 **３** 月 **１６** 日（水）**１３：００～１７：３０**

◆場 所　**日本学術会議講堂**

（東京都港区六本木７－２２－３４　☎03(3403)5706）

【プログラム】

第１部　13:00～

○ 開会挨拶：淡路　剛久（日本学術会議第一部会員、法学系大学院分科会委員、早稲田大学教授）

■ 基調講演

奥田　昌道（日本学術会議連携会員、法学系大学院分科会委員、京都大学名誉教授）

■ 日本学術会議の取組の経過と現段階

戒能　通厚（日本学術会議連携会員、法学系大学院分科会委員、名古屋大学名誉教授）

■ 「法学系研究者養成のあり方に関するアンケート」調査結果報告

愛敬　浩二（日本学術会議連携会員、法学系大学院分科会幹事、名古屋大学教授）

■ 個別大学における取組みと問題点

山本　敬三（日本学術会議連携会員、法学系大学院分科会委員、京都大学教授）

浦川道太郎（日本学術会議連携会員、法学系大学院分科会委員、早稲田大学教授）

長谷川　晃（日本学術会議連携会員、法学系大学院分科会委員、北海道大学教授）

■ 学会における取組みと問題点

松井　芳郎（日本学術会議連携会員、「グローバル化と法」分科会委員、立命館大学教授）

第２部　15:50～

■ 討論

■ 議論のまとめと今後の方向について

広渡　清吾（日本学術会議第一部長、法学系大学院分科会委員長、専修大学教授）

○ 閉会挨拶：滝澤　　正（日本学術会議連携会員、法学系大学院分科会副委員長、上智大学教授）

○ 司　　会：磯村　　保（日本学術会議第一部会員、法学系大学院分科会委員、神戸大学教授）

水島　郁子（日本学術会議連携会員、法学系大学院分科会幹事、大阪大学准教授）

◆主 催　日本学術会議法学委員会・法学系大学院分科会

※ 一般公開・入場無料